

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月13日

事業所名: 児童デイサービス結らんど山里

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	3		状況に応じて、活動内容を検討している。	落ち着かない児童がいた場合のクールダウンできる場所の確保。
	2	職員の配置数は適切である	5	2			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1	1	その都度、相談している。	優先順位を決めながら、対応している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	4		研修会へ参加。	職員間でミーティング等を通して、情報共有の場を設ける。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1		アンケート結果を職員間で共有。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1			ホームページの更新作業。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	3	1	研修情報の確認、職員への周知。	研修報告を行い、職員間で情報の共有を行う。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			確認作業の実施。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	3		イベント情報やネット等から活動内容へ取り入れている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			個々の特性に配慮している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			毎朝ミーティング実施。	情報等の共通理解。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	4		申し送りノートへ記入。	記入漏れが内容、意識改革。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7				
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	2			職員のスキルアップを図る。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	3	4				
関係機関や保護者	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7				



児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月13日

事業所名:児童デイサービス結らんど山里

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		状況に応じて、活動内容を検討している。	落ち着いた児童がいた場合のクールダウンできる場所の確保。
	2	職員の配置数は適切である	7			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	1	その都度、相談している。	優先順位を決めながら、対応している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	1		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1	研修会へ参加。	職員間でミーティング等を通して、情報共有の場を設ける。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		アンケート結果を職員間で共有。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			ホームページの更新作業。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	3		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		研修情報の確認、職員への周知。	研修報告を行い、職員間で情報の共有を行う。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		確認作業の実施。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	1		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		イベント情報やネット等から活動内容へ取り入れている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	7		個々の特性に配慮している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		毎朝ミーティング実施。	情報等の共通理解。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		申し送りノートへ記入。	記入漏れが内容、意識改革。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1		
関係機関や保護者との連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7			職員のスキルアップを図る。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		児童発達管理責任者が参加。	情報の共有・共通理解。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	4		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	6	対象児童無し。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	6	対象児童無し。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	4	会議等へ参加。	職員間で情報の共有を行う。
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1	会議等へ参加。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	5		積極的に取り組んでいく。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		7		計画していく。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	5		
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	3		研修会へ参加。
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		その都度、対応している。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7		計画していく。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		その都度、対応している。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	2		
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	7			
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7		計画していく。
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	1		マニュアルの再確認、共通理解。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1		年2回、訓練実施。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7			
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		指示書のコピーを頂いている。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	3	情報共有に努めている。	職員の意識改革。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	2		運営委員会の定期的開催。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7		身体拘束は行わない支援を行っている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 3月 13日

事業所名 児童デイサービス結らんど山里

保護者等数(児童数) 12 回収数 8 割合 66.6 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	3		・利用児童数が分からない。	「結らんど通信」へ登録児童数等を追記する。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	6	2		・職員数が分からない。	「結らんど通信」等、定期的に職員紹介を掲載する。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	2		・入口の段差をスロープにされている。	定期的にチェックを行う。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	7	1			
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	8				
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	5	1	・コロナやインフルの感染予防の為、今はなくても良いと思います。 ・コロナの現状なので… ・週末に近所の子供達と遊んでいます。	状況を考慮しながら取り組んでいく。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	1			
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7	1		・いつも連携がとれていて、とても助かっています。 ・日々の連絡帳や電話連絡で教えて頂きありがたいと思います。	継続して取り組んでいく。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	1			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		4	4	・コロナ禍で難しいので、いつか出来る時があると良いです。 ・コロナの現状 ・コロナの為、機会がない。	定期的に計画していく。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	2			
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	1		・連絡ノートで知らせてくれる。	継続して実施。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5	3		・活動の様子を写真等でも見られる事があれば嬉しいなと思います。	職員間で連携しながら、活動風景を撮影し、情報提供を行っていく。
	14 個人情報に十分注意しているか	7	2		・してると思うが実際の内部は分からない。	職員間で再確認を行う。
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	4	4		・感染対応は、見た事あるが他は分からない。	周知徹底
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	5		・分からない。	周知徹底
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	7	1		・お出かけや外遊びを増やして欲しいようです。 ・楽しく過ごせているようで嬉しいです。 ・高校生ですが、次年度も行きたい！と楽しみにしています。	状況を考慮しながら、活動内容を工夫し継続して取り組んでいく。
	18 事業所の支援に満足しているか	8			・満足です。いつもありがとうございます。	継続して取り組んでいく。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和5年3月13日

事業所名 児童デイサービス結らんど山里

保護者等数(児童数) 3 回収数 2 割合 66.6 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	2				夏は外で水遊び、雨の日は室内でも体を動かせるみたいなので十分です。	継続して活動等を工夫して、取り組んでいく。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	1	1			専門性は分かりませんが、人数は大丈夫だと思います。	「結らんど通信」等、定期的に職員紹介を掲載する。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2				分かりやすいと思います。	空間や設備等、定期的にチェックを行う。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	2				問題ないです。	継続して取り組んでいく。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	2				子供に合わせた支援をやっていただいています。	継続して取り組んでいく。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2				問題ないと思います。	継続して取り組んでいく。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	2				行われていると思います。	継続して取り組んでいく。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	2				行事予定を見ると工夫が沢山あって楽しそうです。	固定化しないよう情報収集しながら、継続して取り組んでいく。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1			1	ちょっと分からないです。	状況を考慮しながら、近隣の施設に交流会の提案を行ってみる。
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	2				毎月確認してます。	継続して取り組んでいく。
適切な 支援の 提供	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	1			1	問題ないと思います。	継続して取り組んでいく。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	1		1		家族支援は、やってないです。気になります。	今後、職員の勉強会も含め取り組んでいく。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	2				連絡帳やLINE等ですぐ伝えられるので助かります。	継続して取り組んでいく。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている		2			コロナ禍でもあり、面談の機会はないです。	個別に状況確認を行いながら、必要に応じ対応していく。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている		1	1		保護者同士の集まりはありません。	定期的に計画していく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	2				車での送迎時、飛び出す時期があつてので気を付けてもらったり対応してもらってました。	その都度対応し、職員間で連携しながら対応していく。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	2				問題ないです。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	2				毎月の行事予定はスケジュールと一緒に確認しています。	ホームページの活動状況の更新や周知を行っていく。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	2				大丈夫だと思います。	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	1			1	私がいまいち分からないだけか、実施されているか分かりません。	「結らんど通信」やホームページで周知を行う。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	1			1	今は土曜日しか利用していないので、訓練に参加した事ないと思います。	訓練日を配慮し、全児童が参加できるように曜日等を工夫する。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	2				いつも何して遊ぼうか、土曜日が楽しみみたいです。	
	23	事業所の支援に満足している	2				コロナ禍が落ち着いてから事業所での様子や保護者同士の交流もあると良いですね。	保護者会や親子行事等を計画していく。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。